

中部大学民族資料博物館 2013年 秋季展示のご案内

入場無料

素材研究展示 ― 古典と現代の比較 ― 顔料と染料における新たな日本画の表現

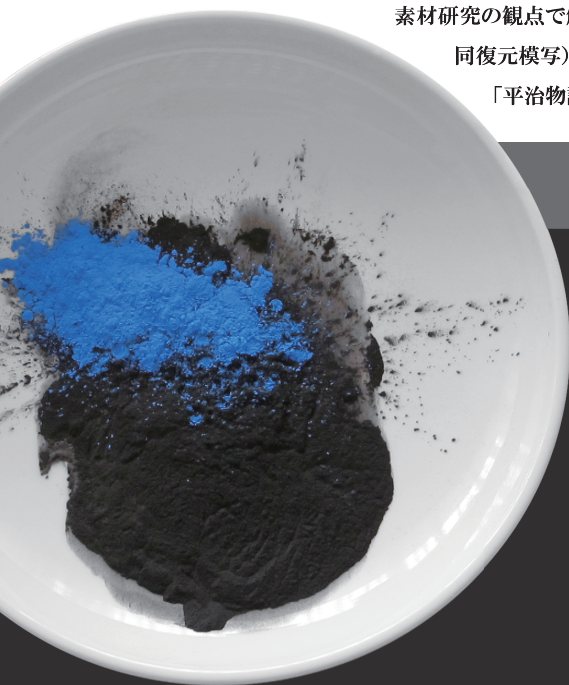
民族資料博物館 多目的室 2013年10月8日(火)～12月18日(水)

開館時間 平日 9:30～16:30 (入場は閉館30分前まで)

古典絵画の伝統的な材料と技法について、制作工程を記録したパネルによって表現効果を比較検証し、古来の天然材料の特質と現代の材料の可能性について考察します。

描き手の観点から、顔料、染料を種類に応じて、胡粉、敦煌黄土、コチニール、墨、箔を重ね塗りし和紙仕立てにした視覚資料パネルを初の試みとして紹介。その他、パネルの制作工程解説・顔料紹介のほか、参考作品として次の作例も

素材研究の観点で解説します。「菩薩と天人たち(バーミヤン石窟寺院壁画現状想定模写・同復元模写)」、「西安追想～平和への巡幸」、「扇面古写経冊子絵(模写)」、「平治物語絵巻(模写)」、「源氏物語絵巻(模写)」― 先の2点は当館蔵、その他中部大学蔵



公共交通機関のご利用にご協力ください。JR中央線 神領駅下車 スクールバス7分

